**「霊的な食べ物、飲み物」　　2015 年 01 月 31 日**

**コリントの信徒への手紙 一 10 章 1 節～9 節。** 兄弟たち、次のことはぜひ知っておいてほしい。わたしたちの先祖は皆、雲の下におり、皆、海を通り抜け、皆、雲の中、海の中で、モーセに属するものとなる洗礼を授けられ、皆、同じ霊的な食物を食べ、皆が同じ霊的な飲み物を飲みました。彼らが飲んだのは、自分たちに離れずについて来た霊的な岩からでしたが、この岩こそキリストだったのです。しかし、彼らの大部分は神の御心に適わず、荒れ野で滅ぼされてしまいました。これらの出来事は、わたしたちを戒める前例として起こったのです。彼らが悪をむさぼったように、わたしたちが悪をむさぼることのないために。彼らの中のある者がしたように、偶像を礼拝してはいけない。「民は座って飲み食いし、立って踊り狂った」と書いてあります。彼らの中のある者がしたように、みだらなことをしないようにしよう。みだらなことをした者は、一日で二万三千人倒れて死にました。また、彼らの中のある者がしたように、キリストを試みないようにしよう。試みた者は、蛇にかまれて滅びました。

パウロは律法を守ることによって神の義に与ることはできない、主イエスの十字架と復活、無償の恵みによって「義」が既に与えられているのだと語った。神に義とされた者は神に結びついているので、地上の一切から自由にされている。その自由を用いて「隣人を自分のように愛する」愛に向かおうと、律法からの解放と新生の愛を福音として説いた。

パウロはイスラエルの歴史を踏まえ、キリスト教信仰を重ね合わせ、救いと罪の出来事を説明している。イスラエルはかつて、エジプトの奴隷であった。彼らは、昼は雲の柱、夜は火の柱に先導され、紅海が割れ海の中を通り抜け、ようやく出エジプトをした。そして、荒れ野へと導かれた。ここでも、天からのマナをいただき、岩からほとばしる水を飲んで、約束の地カナンを目指した。海を通り抜けたことはモーセに属するものとなる洗礼であり、天からのマナは霊的な食べ物、キリストである岩からの水は霊的な飲み物である。イスラエルが経験した救いの歴史は、そのままクリスチャンが受けた洗礼であり、霊的な食べ物、飲み物である。パウロは神の圧倒的な恵みによって救いを得たと語っている。

そのような救いを得たのであるから、悪をむさぼってはならないと勧告する、その勧告もイスラエルの歴史から説き起こしている。出エジプトした民はシナイの荒れ野に辿り着き、宿営する。神は十戒を与えるためにモーセをシナイ山に呼び出す。モーセの下山が遅れ、民は不安に駆られ、モーセの兄アロンに偶像を造ることを要求し、アロンは金の雄牛を鋳造する。民は、これを神とし、祭壇を築いて献げ物をし「民は座って飲み食いし、立って踊り狂った。」あれだけ大きな恵みをいただきながら、指導者モーセを失った不安と恐怖から背信し、偶像礼拝を行った。偶像礼拝は地上の物を神とし自分の欲望を押し付け、偶像の奴隷となり、自らを堕落させ心を萎えさせる。この日、およそ 3 千人が倒された。また、シティムに滞在していた時、偶像の神々に犠牲を献げ、食事に加わり、拝んだ。この災害で 2 万 3 千人が死んだ。更に、荒れ野での飢え渇く生活に不平を言い、神とモーセに逆らった者たちは蛇にかまれて滅んだ。パウロは、不平はキリストを試みることであると言っている。イスラエルの歴史を通して、神からいただいた大きな救いの恵みを覚え、「偶像を礼拝してはいけない」。パウロは、コリント教会で起こった諸々の問題は悪をむさぼる、みだらな偶像礼拝であると指摘している。